

安全対策工事紹介シリーズ

ガスタービン発電機の設置について

2020年 6月25日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

ガスタービン発電機設置の目的・概要等

➤ 目的

万が一の全交流電源喪失時にも重要機器の動力が確保できるよう、ガスタービン発電機を設置。


➤ 概要

重大事故等対処設備として、ガスタービンと発電機を備えた車両と、その発電機出力の制御装置等を備えた車両の2台1セットで構成される発電設備（2セットを配備）。

- 設置場所：7号機タービン建屋南側
- 容量：4500kVA
- 燃料：軽油（5万リットル×2基）
- ケーブル：ガスタービン発電機基礎とタービン建屋間の埋設電路を介して建屋内へ敷設。

※自主設備として同様な設備が1～4号機側（荒浜側）高台に2セット配備済。

➤ 工事期間：2016年1月 ～ 2020年8月



今後、転倒防止対策（竜巻対策含む）や受電試験を行い8月に完了予定

ガスタービン発電機設置工事進捗状況

7号機タービン建屋南側



2016年5月 地盤造成



2019年12月 ガスタービン発電機の基礎状況



2020年6月 7号機タービン建屋南側の設置状況(2セットを配備)